

第2次ズーストック計画における2022年の取組状況について

東京都建設局公園緑地部計画課
2023年3月

■第2次ズーストック計画の概要

第2次ズーストック計画は、都立動物園・水族園（建設局所管の恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園、井の頭自然文化園及び環境局所管の大島公園動物園）を取り巻く状況の変化を踏まえ、平成元（1989）年度に策定した「ズーストック計画」を大幅に見直し、平成30（2018）年に策定された計画である。

124種の動物を対象とし、種それぞれに「飼育繁殖」「保全情報」「普及啓発」の3つの分野について、10年後の目標を設定し、それに向かって計画を立案し進めていく。

（1）飼育繁殖

計画的な繁殖と種の適正管理を推進し、国内外の野生動物保全に取り組む関係機関等との連携を強化しながら、種の保存に取り組む。

（2）保全情報

生物学的情報や保全取組情報を整理し、生息域外保全及び生息域内保全に貢献する。飼育マニュアルを策定し、都立動物園で培ってきた飼育繁殖技術等を維持していく。

（3）普及啓発

ズーストック種を活用した様々な環境学習や情報発信に取り組む。また、都立動物園等が将来の野生動物保全の担い手を育む場となるべく、効果的な環境教育や野生動物保全の普及啓発を推進する。

■取組状況について

上記（1）～（3）の項目について、その目標達成に向けて毎年、計画の作成及び実施状況の確認を行っている。計画対象の全124種について、2022年（1月1日～12月31日）の成果などを以下のとおり報告する。

■2022年の取組について

(1) 飼育繁殖について

繁殖を目指していた種のうち、哺乳類 15 種(チンパンジー、ニホンカモシカ等)、鳥類 21 種(ライチョウ、トキ、オジロワシ等)、両生類 8 種(イボイモリ等)、魚類 4 種(ムサシトミヨ等)、無脊椎 1 種(アナカタマイマイ)の繁殖に成功した。このうち 2 種で繁殖仔が死亡し、仔の成長には至らなかった。また、産卵のみが確認され孵化に至らなかった事例が 10 種で認められた。

チンパンジーやライチョウ、ペンギン類などでは、人工授精や人工育雛など利用した取組が見られ、自然交配が困難な状況に置かれた個体の繁殖などの成果が得られた。

トキではこの数年、人の手を介さない自然孵化、自然育雛への取組を推進している。2019 年以降、自然孵化までの成功に留まっていたが、今年初めて自然孵化後の自然育雛に成功し、巣立ちまで至っている。

《主な取組実績例》

- ・ニシゴリラおよびルリカケスが繁殖し、仔が成長。(上野動物園)
- ・チンパンジーが人工授精で初めて出産。トキは自然繁殖に初めて成功。(多摩動物公園)
- ・オウサマペンギン、フンボルトペンギン、ウミガラス、エトピリカについては繁殖が順調。
(葛西臨海水族園)
- ・アムールヤマネコが 8 年ぶり、ニホンカモシカが 9 年ぶりに繁殖。(井の頭自然文化園)
- ・ワオキツネザル、バーバリーシープ、カラスバトが繁殖し、仔が成長。(大島公園動物園)

(2) 保全情報について

都立動物園以外の機関と連携した取組も多く、種卵や保存精液の輸送協力や、感染症の調査や DNA 解析などに関する共同研究も多く実施された。これら共同研究などの一部については、成果を会議または論文で発表した。

域内・域外保全活動については、アイアイやジャイアントパンダ、モウコノウマで保護資金の拠出を通して現地の保全活動に貢献した。コロナ禍においても、アカハライモリの生息地調査、保全地での課外授業を継続して実施した。

《主な取組実績例》

- ・動物病院・保全センターと連携してチンパンジーの人工授精に継続して取り組んだ結果、出産に至り、野生由来個体の血統を残すことに成功した。(多摩動物公園)
- ・ウミガラス、エトピリカについて、刺し網による海鳥混獲の削減を目指した共同研究を実施。(葛西臨海水族園)
- ・カラスバトの大島島内の生息状況について、都立高校と共同研究を実施。(大島公園動物園)

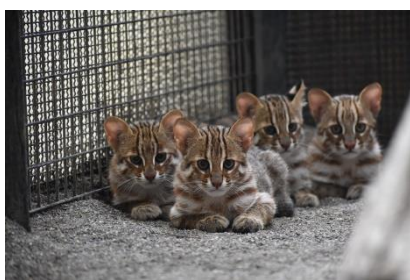
(3) 普及啓発について

新型コロナウイルス感染状況の悪化に伴い、休園を余儀なくされた期間もあったが、行動制限が解除され、感染防止対策を実施した上で、対面のイベント、講演会やガイドを再開する取り組みも多くみられ、新型コロナウイルスの感染状況に臨機応変に対応している状況が見られた。行動制限が解除されても、コロナ禍で工夫して行われてきた、ツイッターやズーネットを利用した情報発信や、オンライン参加型のイベントによる普及啓発も継続して見られた。

また、教育普及センターが複数園と連携して行った取組もあった。

《主な取組実績例》

- ・上野動物園のゾウ飼育開始から 135 年目となることを記念し、パネル展「上野動物園の歴代ゾウ」を開催し、ゾウ飼育の歴史を紹介。開園 140 周年企画「飼育係による解説パネル展 見たい！知りたい！どうぶつえん」にて、飼育担当者が来園者へ知ってもらいたいポイントを手書きで解説し、ゾウの現状や動物園の保全活動を紹介。（上野動物園）
- ・「世界ゾウの日」に Youtube で動画を配信。園内では野生ゾウの写真パネル展、ボランティアによる行動観察イベント、世界ゾウの日チラシおよび WWF ジャパン発行のリーフレットの配布を実施。（多摩動物公園）
- ・ワオキツネザルについて、上野で開園 140 周年企画「飼育係による解説パネル展 見たい！知りたい！どうぶつえん」にて、飼育担当者が来園者へ知ってもらいたいポイントを手書きで解説し、マダガスカルの現状や動物園の保全活動を紹介。
大島では『どうぶつと動物園』や町広報誌、SNS などにより情報発信を実施。（上野動物園、大島公園動物園）
- ・ツシマヤマネコについて、開園 80 周年記念に発行した『飼育係からのお便り』で、観察ポイントや保護増殖事業について紹介し、展示場で特別ガイドを実施。
「ヤマネコ祭」では、従来の参加団体の他、地元の機関や企業、店舗なども新規参加。ボランティアによるワークショップや、飼育担当者や動物解説員、ボランティアによるガイドも実施。
「ヤマネコ保全講演会」では、保護増殖事業の現状などについて報告。（井の頭自然文化園）
- ・ウミガラスについて羽幌町と結んでいるパートナーシップ協定により、「つどえ オロロ〜ン！」と題したオンライン講演会やパネル展を共催で実施。また、刺し網による海鳥混獲の削減に向けた共同研究の一環で、漁業関係者などに参加協力を依頼した動画コンテンツを作成。（葛西臨海水族園）



アムールヤマネコの子(井の頭)



カモシカの親子(井の頭)



「世界ゾウの日」の情報発信(多摩)



トキのオス親と巣立ったひな
(多摩)



オウサマペンギンの親子(葛西)



休園中の情報発信(大島)

○全 124 種の取組状況一覧

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
1	コアラ科	コアラ	多摩	・6月25日に生まれたコアラの仔が母親の袋のなかで 成育中。
2	ゾウ科	アジアゾウ	上野	・「世界ゾウの日」にYouTubeライブ配信により、「動物 園が未来のゾウたちにできること」を実施。 ・上野動物園が初めてゾウを飼育して135年目を記念 し、パネル展による「上野動物園の歴代ゾウ」を開催。 ・ボランティアがメインとなり、2020年に生まれたアル ンの成長の様子を解説したポスターを作成。 ・開園140周年企画 飼育係による解説パネル展「見た い！ 知りたい！ どうぶつえん」企画にて、飼育担当 者が来園者へ知ってもらいたいポイントを手書きで 解説し、その動物が野生で置かれている現状、園が取 り組んでいる保全活動を紹介。
3	ゾウ科	スリランカゾウ	多摩	・東京観光財団オンラインツアーに飼育担当が講師と して出演し、新アジアゾウ舎やゾウについて、ライブ 配信による情報発信を実施。 ・「世界ゾウの日」にYouTubeによる動画を配信。園内 では野生ゾウの写真パネル展やボランティアによる 行動観察イベントを実施し、「世界ゾウの日」のチラ シおよびWWFジャパン発行のリーフレットを配布。
4	ゾウ科	アフリカゾウ	多摩	・オス1頭の飼育になっており、メスの導入を検討中。
5	キツネザル科	クロキツネザル	上野	・3月にメスの仔が1頭生まれ成育中。
6	キツネザル科	ワオキツネザル	上野 大島	・大島では4月に生まれた仔が成育中、上野でも計画的 な個体管理が実施されている。
7	キツネザル科	クロシロエリマキ キツネザル	上野	・日本動物園水族館協会の計画に基づいた個体の移動 を実施。新たなペア形成、繁殖を目指す。
8	アイアイ科	アイアイ	上野	・2ペアでペアリングを実施。
9	ロリス科	レッサースロー ロリス	上野	・日本動物園水族館協会の計画に基づいた個体の移動 を行い繁殖に取り組んでいる。
10	オマキザル科	ワタボウシタマリン	上野	・メスが高齢のため、若いメスの導入を模索。
11	オナガザル科	ブラッサグエノン	上野	・繁殖仔が順調に成育。
12_1	オナガザル科	ホンダザル	多摩	・遺伝的占有度を考慮した、繁殖制限を行っている。
12_2	オナガザル科	ホンダザル (下北個体)	上野	・適正な展示頭数を維持。
13	オナガザル科	アビシニアコロブス	上野	・適切な血統管理を行い2郡に分けて飼育。うち1群で 2頭が繁殖。
14	テナガザル科	シロテテナガザル	上野 多摩	・上野老齢ペアが死亡。新規導入を検討。
15	ヒト科	ニシゴリラ	上野	・メス1頭の出産を確認。人工保育で成育。群れに戻す トレーニングを実施中。
16	ヒト科	チンパンジー	多摩	・人工授精による産子を確認。仔は順調に成育。 ・「世界チンパンジーの日」にはTwitterなどで情報発 信。
17	ヒト科	ボルネオオランウー タン	多摩	・他個体との同居が困難だった人工哺育個体を他園よ り受け入れ、社会性を学習させる取組を継続。
18	リス科	ニホンリス	上野 井の頭	・井の頭では累代飼育に成功している。
19	ネズミ科	アマミトゲネズミ	井の頭	・交尾行動などは確認したものの、妊娠には至らず。
20	オオコウモリ科	オリオオコウモリ	上野 井の頭 大島	・各園、適正個体群を維持。
21	センザンコウ科	ミミセンザンコウ	上野	・メス1頭の単性飼育が続いている。オスの導入を検討 中。
22	ネコ科	アフリカチーター	多摩	・動物舎改修工事のため繁殖や個体移動の実施は無し。
23	ネコ科	マヌルネコ	上野	・「国際マヌルネコの日」にTwitterなどで情報発信。
24	ネコ科	ベンガルヤマネコ	上野	・2020年に飼育個体が死亡。入手の可能性について調査 継続中。
25_1	ネコ科	アムールヤマネコ	井の頭	・5月に4頭の仔が産まれ成育中。

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
25_2	ネコ科	アムールヤマネコ (ツシマヤマネコ)	井の頭	・開園 80 周年記念に発行した『飼育係からのお便り』で、観察ポイントや保護増殖事業について紹介し、展示場で特別ガイドを実施。「ヤマネコ祭」ではボランティアによるワークショップや飼育担当者や動物解説員、ボランティアによるガイドを実施。「ヤマネコ保全講演会」では、保護増殖事業の現状などについて報告。
26	ネコ科	ライオン	多摩	・9月に3頭の仔が生まれ成育中。
27	ネコ科	アムールトラ	多摩	・ペアリングを実施し、交尾行動は確認したが妊娠には至らず。
28	ネコ科	スマトラトラ	上野	・人工授精を実施したが、妊娠には至らず。
29	ネコ科	ユキヒョウ	多摩	・ペアリングを実施し、交尾は確認されるが妊娠には至らず。
30	イヌ科	ヨーロッパオオカミ	多摩	・飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。 ・新規導入を模索中。
31	イヌ科	フェネック	井の頭	・適切な飼育個体数を維持。
32	クマ科	ジャイアントパンダ	上野	・繁殖仔が順調に成育。 ・引き続き Twitter など で 情報 発信 を 行 っ た。
33	クマ科	マレーグマ	上野	・メスのみの単性飼育が続いている。新規個体導入に向けた情報を収集している。
34	クマ科	ホッキョクグマ	上野	・交尾行動は確認されるが、妊娠には至っていない。
35	クマ科	ニホンツキノワグマ	上野 多摩	・飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。 ・上野では冬眠している状態を展示。
36	イタチ科	ホンドテン	井の頭	・個体の移動など繁殖に向けた取組みを行っているがオスのみの飼育となっている。メスの導入について調査中。
37	レッサーパンダ科	シセンレッサーパンダ	上野 多摩 大島	・多摩で3月に2頭の仔が生まれ成育中。 ・「国際レッサーパンダの日」には展示パネルや SNS など を 用 い て 情報 発信 。
38	ウマ科	モウコノウマ	多摩	・モンゴルでモウコノウマの野生復帰プロジェクトを進める国際タヒグループ (ITG) に資金協力。
39	ウマ科	グレビーシマウマ	多摩	・飼育施設建設中。仮収容施設で適正に飼育管理。
40	バク科	マレーバク	多摩	・5月にメスの仔が生まれ成育中。
41	サイ科	ヒガシクロサイ	上野	・ホルモン測定と行動観察による排卵期の分析を実施。 ・「世界サイの日」に国内のサイ飼育園と連携した Twitter による情報発信を実施。
42	サイ科	インドサイ	多摩	・「世界サイの日」に国内のサイ飼育園と連携した Twitter による情報発信を実施。
43	カバ科	コビトカバ	上野	・メスのみの単性飼育になっている。オス個体の導入を調整中。
44	カバ科	カバ	上野	・オスの死亡により、メスのみの単性飼育になっている。
45	ウシ科	バーバリーシープ	上野 大島	・大島では12頭の仔が成育中。
46	ウシ科	ゴールデンターキン	多摩	・飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。
47	ウシ科	ニホンカモシカ	上野 多摩 井の頭 大島	・井の頭で7月にオスの仔が1頭産まれる。 ・大島でも交尾行動を確認。
48	ウシ科	シロオリックス	多摩	・飼育施設建設中。仮収容施設で適正に飼育管理。
49	カモ科	コクガン	多摩	・国内飼育は多摩のメス2羽のみ。オスの導入を模索中。
50	カモ科	ハワイガン	大島	・繁殖に適した飼育環境作りが取組んだが産卵に至らず。
51	カモ科	シジュウカラガン	上野 多摩 井の頭	・各園とも適度な飼育個体数が維持できるように計画的に繁殖させている。

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
52	カモ科	ヒシクイ	多摩	・血縁関係個体同士の飼育となっている。新たな個体導入を検討中。
53	カモ科	マガン	多摩	・産卵後、抱卵はしたが孵化には至らず。
54	カモ科	カリガネ	多摩 井の頭	・3羽の雛が成育。
55	カモ科	オシドリ	多摩 井の頭 大島	・各園適切な個体管理に基づき、井の頭で繁殖。多摩でも有精卵が得られた。
56	カモ科	トモエガモ	井の頭	・2018年に飼育個体が死亡。国内に飼育園は少なく、導入に向けた情報収集を継続。
57	キジ科	ライチョウ	上野	・低温保温した精液を上野から都外の動物園に輸送し、輸送先のメスに対して人工授精を実施。その結果、1羽の雛が孵化したが、成育には至らなかった。 ・保護活動について富山県と連携し、ズーネットで情報発信。
58	キジ科	ニジキジ	多摩	・産卵に至らなかった。
59	キジ科	コサンケイ	上野 多摩	・産卵はしたが孵化には至らず。
60	キジ科	パラワンコクジャク	上野 多摩 井の頭	・上野で2羽の雛が成育。
61	ペンギン科	オウサマペンギン	葛西	・1羽が孵化し成育中。
62	ペンギン科	ケープペンギン	上野	・3羽が孵化し成育中。
63	ペンギン科	フンボルトペンギン	葛西 井の頭	・葛西で5羽の雛が成育。
64	フラミンゴ科	オオフラミンゴ	多摩 大島	・適正飼育頭数を維持しながら計画的な繁殖に取り組んでいる。
65	フラミンゴ科	ベニイロフラミンゴ	上野	・産卵はしたが孵化には至らず。
66	コウノトリ科	ナベコウ	多摩	・2羽の雛が成育。
67	コウノトリ科	コウノトリ	上野 多摩 葛西 井の頭	・コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネルの計画に従って、多摩での繁殖に取り組み、2羽の雛が成育。各園適切な個体管理を行い、飼育を継続。 ・コウノトリ保全セミナーを実施するなど普及啓発に努めた。
68	トキ科	ホオアカトキ	上野 多摩	・血統に配慮して計画的な繁殖に取組、孵化に至る。
69	トキ科	トキ	多摩	・自然孵化、自然育雛に成功。4羽の雛が育成。
70	トキ科	ショウジョウトキ	多摩 大島	・適正個体数の維持を考慮し、計画的な繁殖に取り組み、多摩で2羽の雛が成育。
71	ハシビロコウ科	ハシビロコウ	上野	・適切に管理しながら、繁殖に適した条件を模索中。
72	コンドル科	コンドル	上野	・2016年産まれの個体を搬出後、次期繁殖に取り組む。
73	タカ科	コシジロハゲワシ	上野	・1羽が孵化し成育。
74	タカ科	ダルマワシ	上野 多摩	・各園ともに高齢個体の単性飼育となっており、新規個体の可能性を調査中。
75	タカ科	クマタカ	上野	・繁殖した個体を搬出後、次期繁殖に取り組む。
76	タカ科	イヌワシ	多摩	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、ペアリングを実施。
77	タカ科	ツミ	上野 井の頭 大島	・メスのみの飼育となっており、オスの導入を模索中。
78	タカ科	オジロワシ	多摩 大島	・19年ぶりに多摩で2羽の雛が成育。
79	タカ科	オオワシ	上野 多摩	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、飼育・繁殖に取り組んでいる。

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
80	タカ科	ノスリ	上野 大島	・オスメスで飼育しているが、発情兆候なし。 ・上野は現在飼育個体なし。
81	ツル科	ソデグロヅル	多摩	・自然繁殖で産卵は見られたが、孵化には至らず。
82	ツル科	マナヅル	多摩 井の頭 大島	・各園の飼育個体は適切に管理。日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組む。
83	ツル科	タンチョウ	上野 多摩 葛西 井の頭	・各園の飼育個体は適切に管理。日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組む。
84	ツル科	オグロヅル	上野 多摩	・日本動物園水族館協会の計画に基づき他園と連携。上野でメス1羽の単性飼育となっている。
85	ウミスズメ科	ウミガラス	葛西	・日本動物園水族館協会の計画に基づき繁殖に取り組み、2羽の雛が成育。 ・東京動物園協会と羽幌町との間で結んだ協定に基づき、連携した普及啓発を展開。
86	ウミスズメ科	エトピリカ	葛西	・3羽の雛が成育。
87	ハト科	カラスバト	上野 多摩 井の頭 大島	・各園の飼育個体は適切に管理。大島で2羽の雛が成育。 ・大島と都立高校で共同研究実施。
88	ハト科	アカガシラカラスバト	上野 多摩 井の頭	・上野で4羽、多摩で5羽の雛が成育。それぞれ自然繁殖に成功している。 ・上野で傷病個体を1羽受け入れ。 ・井の頭で飼育再開。
89	ハト科	シラコバト	上野	・新規メス個体の導入を検討。
90	フクロウ科	オオコノハズク	上野 多摩 井の頭 大島	・各園の役割と状況に応じて適切な個体管理を行い、飼育を維持している。多摩で2羽が成育。
91	フクロウ科	ワシミミズク	多摩	・繁殖行動は見られているが、産卵には至っていない。
92	フクロウ科	フクロウ	上野 多摩 井の頭 大島	・各園の役割と状況に応じて適切な飼育管理を行った。多摩で産卵したが孵化には至っていない。
93	オオハシ科	オニオオハシ	上野 大島	・大島で自然孵化および人工孵化に取り組んだがいずれも孵化せず。
94	ハヤブサ科	ハヤブサ	井の頭 大島	・井の頭で産卵したが孵化には至っていない。
95	カラス科	ルリカケス	上野	・孵化した雛が4羽成育。
96	リクガメ科	アルダブラゾウガメ	大島	・交尾が確認されているが、産卵には至らず。
97	クロコダイル科	ニシアフリカコガタ ワニ	上野	・産卵及び交尾行動がみられた。
98	ワニトカゲ科	チュウゴクワニトカゲ	上野	・交尾行動がみられたが繁殖には至っていない。
99	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。 ・井の頭で繁殖に成功。
100	イモリ科	アカハライモリ	上野 多摩 葛西 井の頭	・各園安定した個体群の維持を実施している。 ・葛西で繁殖に成功。 ・小中学生を対象に体験学習などを実施。
101	イモリ科	イボイモリ	上野	・継続して繁殖に成功。
102	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	上野 多摩 葛西 井の頭	・飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。 ・多摩動物公園では域内保全に取り組む。

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
103	アマガエル科	ニホンアマガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。
104	アカガエル科	ニホンアカガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。 ・井の頭で繁殖に成功。
105	アカガエル科	トウキョウダルマガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。
106	アカガエル科	ツチガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。 ・井の頭で繁殖に成功。
107	アカガエル科	ヤマアカガエル	上野 多摩	・各園の役割に応じた個体管理を実施。 ・多摩で繁殖に成功。
108	アオガエル科	カジカガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。 ・上野で繁殖に成功。
109	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	上野 多摩 葛西	・各園の役割に応じた個体管理を実施。
110	アオガエル科	モリアオガエル	上野 多摩 葛西	・各園の役割に応じた個体管理を実施。
111	メジロザメ科	アカシユモクザメ	葛西	・繁殖に適した健康な個体の育成中。
112	コイ科	ミヤコタナゴ	井の頭	・新規個体群導入予定。導入後、繁殖に取り組む。
113	コイ科	ゼニタナゴ	葛西	・累代飼育を継続している。 ・産卵に必要な二枚貝の飼育試験も継続。
114	メダカ科	ミナミメダカ	葛西 井の頭	・葛西で調布市産及び葛飾区産の個体、井の頭で杉並区産の個体を飼育。それぞれの個体群で繁殖。
115	トゲウオ科	ムサシトミヨ	井の頭	・累代飼育を継続している。
116	ヨウジウオ科	タツノオトシゴ	葛西	・近縁種による種特有の感染症に対する予防法及び治療法について飼育試験を継続。
117	ベラ科	メガネモチノウオ	葛西	・繁殖に適した健康な個体の育成中。
118	ハゼ科	トビハゼ	葛西	・仔魚は確認されたが成育にはいたらなかった。 ・親子向けプログラム「キミもトビハゼ調査隊！」をオンラインで実施し、トビハゼの現状などを紹介。
119	シジミチョウ科	オガサワラシジミ	多摩	・飼育受け入れ態勢維持のため食草管理、近縁種の飼育を継続。
120	ナンバンマイマイ科	アナカタマイマイ	上野 多摩 葛西	・各園の飼育個体は適切に維持、管理。 ・環境省と協議し、計画的に繁殖に取り組んでいる。
121	ナンバンマイマイ科	カタマイマイ	葛西 井の頭	・遺伝的多様性に配慮しながら、安定的な繁殖を目指して飼育を継続。
122	ミドリイシ科	スギノキミドリイシ	葛西	・大型水槽による新規展示を開始。 ・情報パネルやSNSなどで、サンゴ礁の危機的状況などについて情報を発信。
123	アザミサンゴ科	アザミサンゴ	葛西	・LED照明下で順調に成長、繁殖に向けて飼育環境を整えている。
124	キクメイシ科	キクメイシ	葛西	・LED照明下で順調に成長、繁殖に向けて飼育環境を整えている。